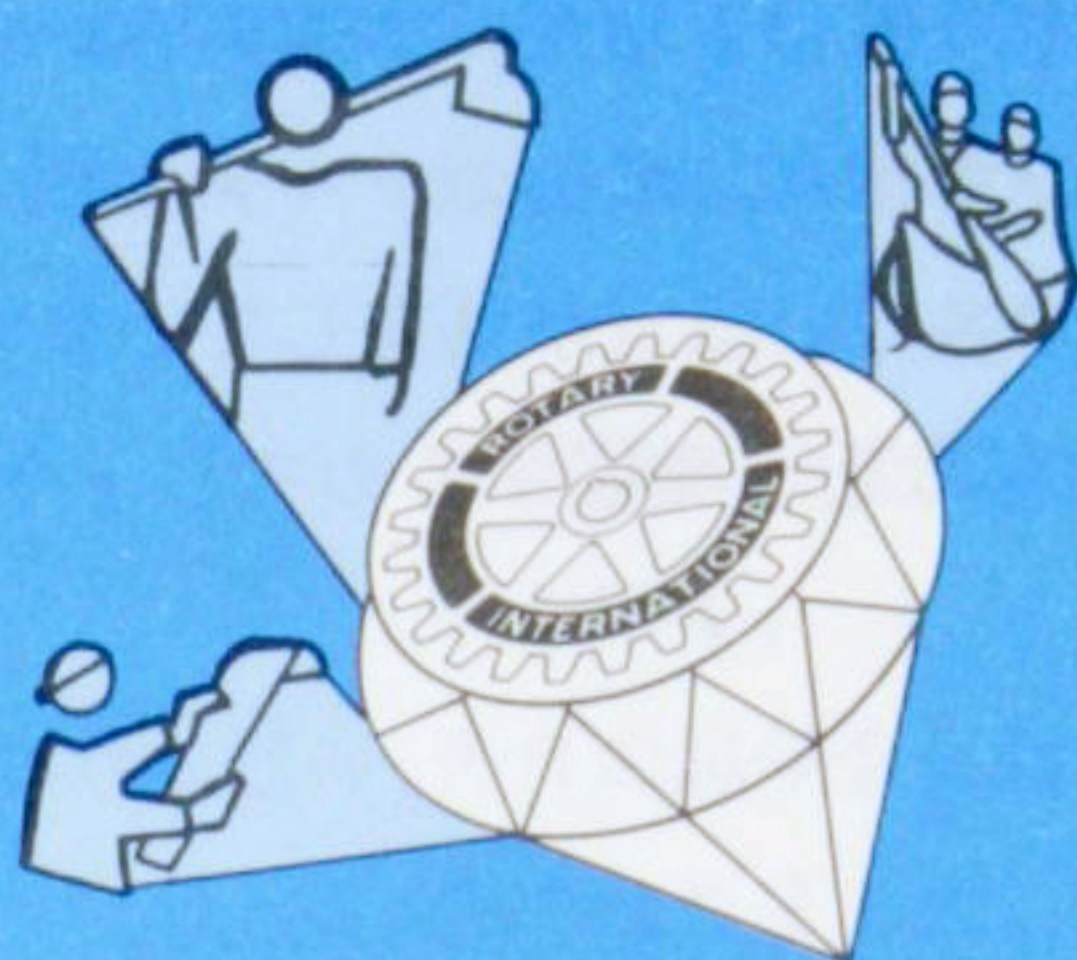


ENJOY ROTARY!



ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ●第256地区ガバナー 吉野 一郎
 - 会長 — 小林 英雄 ●副会長 — 小林九満太 ●幹事 — 五十嵐昭一
 - SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ●例会日 — 毎週水曜日 12:30~
 - 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
 - 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)
- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

出席会員数

会員7474名中 58名

先々週出席率

90.14% (前年同期 95.45%)

今日のお花

ポピー

ヴィジター

燕より 五十嵐荘一君

三条北より 本間建雄美君、佐藤啓策君、高橋彰雄君

先週のメイクアップ

12/21 加茂へ 山谷春夫君

12/21 燕へ 外山一郎君

12/25 三条南へ 古沢富雄君

12/26 三条北へ 山本福七君、轡田秋夫君、山谷春夫君、堀川政雄君

会長挨拶

小林(英)会長

平成元年も残り4日となりました。先週の忘年会は、親睦委員会の格別のご奉仕で、楽しく賑やかな会となりました。本当に有難うございました。RIのテーマ「ロータリーを楽しもう」の年度も、今日で半期を終ることになります。会長はロータリーを楽しんでいます。どうぞ後半も楽しくやりましょう。

ブッシュ米政権が登場したのは、今年の1月20日でした。就任式でブッシュ大統領は、

「新しい風が吹いている」と述べて、新時代の到来を予告しました。ソ連のペレストロイカにはじまり、動きの激しさは東欧情勢が際立っていました。戦後のヤルタ体制・冷戦構造が大きく変動しつつあるとの認識は、内外を問わず多くの論者が共有しています。とにかく1989年は、世界的に変動がはじまりました。来年はどう発展するのでしょうか。

皆様良い新年をお迎え下さい。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

・米山記念奨学会より 11月9日で特別寄付累計額が¥3,028,354となり、米山功労クラブ、となりました。

・例会変更のお知らせ

巻RC 12月27日(水) 年末につき休会
1月24日(水) 新年会PM7:00~ 於 渡辺鮮魚店

・年末年始事務所休みのお知らせ

12月29日~1月3日

1月のお祝い

- ◎会員誕生祝 2日 大谷幸平君 10日 広瀬昌寿君 11日 五十嵐昭一君
11日 五十嵐晋三君 16日 銅冶 倫君 17日 渡辺惣吉君
23日 池田俊一君 27日 野水文治君
- ◎夫人誕生祝 2日 杉野美智子さん(奎司) 3日 金子カズさん(左武郎)
5日 浜 律子さん(潔) 8日 山谷綾子さん(春夫)
10日 小柳みさ子さん(恵司) 11日 山本晴子さん(福七)
14日 鈴木澄子さん(宗資) 16日 轡田悠紀子さん(秋夫)
18日 松谷ムツ子さん(昊吉) 19日 五十嵐芳江さん(力)
20日 小林恵智子さん(英雄) 27日 渡辺美代さん(勝利)
- ◎結婚記念 3日 松川星吾君 7日 捧 賢一君 14日 長谷川有美君
25日 高橋清見君
- ◎100%出席賞 20年 吉井俊介君 17年 小林英雄君 11年 堀川政雄君

ニコニコBOX ¥28,000

- 小林(英)君 先週の忘年会には多数のご出席、有難うございました。親睦委員会ご苦
労さまでした。
半期終わりました。平成2年もよろしくお願い申し上げます。皆さんよ
いお年を。
- 五十嵐(昭)君 先日の忘年会には御夫人を含めて多勢の会員の参加をえて、大変楽しい
会になりました。ありがとうございました。
- 金子 君 先日の忘年会を欠席失礼いたしました。
みなさまよい年をお迎え下さいますよう。
- 松川 君 今年最終のビックレース有馬記念でばっちりいただきました。
五十嵐(晋)君 20日のパーティーで歳末助けあいに協力して下さいありがとうございます御座居ま
した。
- 山浦 君 忘年の気持ちとして。
榎本 君 ゆううつな卓話の日になりました。下手な卓話を最後まできいていただ
きたく神に祈るおもいで!!
- 外山(雅)君 過日タイのバンコックのナバタニ・ゴルフ場(かつてワールドカップ戦
のあった所)でプレーをして参りました。プロと同じ様にキャデーが一
人に一人ずつ付いて異国情緒のもと楽しいプレーをすることが出来まし
た。
- 藤田(紘)君 今年もありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。
佐久間 君 去る20日の忘年会、体調をくずして、心ならずも欠席してすみませんで
した。
- 五十嵐(総)君 早いもので平成元年も過ぎようとしています。1年間お世話になりました
た。皆様よいお年をお迎え下さい。
- 松 縄 君 忘年例会多数の御参加ありがとうございました。
渡辺(宏)君 本年中はお世話になりました。来年も宜敷くお願い申し上げます。
杉野 君 今年は大変お世話になりました。
野村 君 先日の忘年会で夫婦の写真を週報にのせて頂き、有難う御座いました。
吉井 君 折り返し点を迎えた小林丸三条ロータリーの後半の活躍に期待して。
捧 君 ロータリー財団に大勢の方々の協力ありがとうございました。
佐野 君 つたない卓話で申し訳ありません。

卓 話

佐野 勝栄会員

皆様こんにちは、入会させて頂きましてから1カ月が過ぎました。

本日は卓話という事で、経験、知識豊富な大先輩の皆様方の前で、またこのような高い所で大変おこがましいのですが、ご指名ですのでこれからお話させて頂きます。

それでは、私共の情報処理産業界についてお話ししたいと思います。

情報処理産業界といいますが、多岐にわたっておりまして、大別すると次の3つの業種にしばられると思います。

1. コンピュータ・プログラムの作成を行うソフトウェア業
2. 従来から存在するコンピュータを利用して種々の計算を行う情報処理サービス業
(計算センターなど)
3. コンピュータを利用して情報を検索、提供する情報提供サービス業
(データベース・サービスなど)

上記の3つの業種に関しては、一般的にソフトウェア関係に属する業界と考えて良いでしょう。さらに、情報産業の位置づけとして、コンピュータ、半導体、集積回路の製造・販売するコンピュータ産業（主にメーカー）がございいます。これは一般的にハードウェア関係に属する業界といえましょう。

情報処理産業の現状としましては、1983年における我国の情報処理産業(ソフトウェア関係)の売上高は1兆953億円、同様にコンピュータ(ハードウェア関係)の売上高は1兆9,565億円であります。昨年度は1988年度の調査ではコンピュータ(ハードウェア関係)の売上高は3兆2,143億円まで上昇し、ソフトウェア関係の売上高は1兆5,000億円程度と考えられます。現在もハードウェアとソフトウェアとの構成比率は2:1ですが、ハードウェアの日進月歩の高機能化、低価格化に比べ、ソフトウェアはほとんど人件費で占める為年々単価が上昇し、人材の不足に陥っております。近年、大企業では1社1,000名以上の大量採用が相次ぎ、まして県内へのUターン学生も限られる中、県内でも有力な金融業を筆頭として、同様に大量採用が相次いでおります。人材が勝負である私共の様な小企業は人材確保で大変悩んでおります。

今やあらゆる業種、業界において業態変化が生じております。本業の中身を変えるような分野にどんどん進出し、金融業を始め鉄鋼、造船、運輸業とあらゆる業界で国際化、多角化、脱本業、情報化と新しい付加価値の創造の世界へ着手しつつあります。これからのネットワークビジネス化の社会では、益々対外的な通信によるビジネスが、大・中・小企



卓 話

土地家屋調査士について

榎本 勝会員

(1) 今日土地家屋調査士とはどんな職業であるか。

(2) どんな経緯を経てこの様な制度が生まれたのか。

この2点について少しお話してみたいと思います。

(1)については別紙(別冊)のテキストを御覧いただければ、どの様な仕事をするのかと云うことが、具体的に書いてありますので、(2)のどう云う背景からこの様な制度が出来たかについて述べてみたいと思います。

(イ) 昭和25年7月31日、法律228号を以て土地家屋調査士法が制定された。以後数次の改正がなされ現在に至っている。

(ロ) 調査士制度の昔を振り返ってみるに、不動産登記制度と密接不可分な業務であり、登記制度の変遷に深い関係があります。先ず明治初期に行われた地券制度が明治22年3月に廃止され、地租条例による「土地台帳制度が生まれた事があげられる」(土地台帳法、昭和22年3月21日、法律第30号にて改正し、同年4月1日施行)

土地台帳制度は、課税を基本とし、土地の物理的状況を正確に掌握して、税負担の均衡を図ることを目的としている。また不動産の権利容体を基本とした登録機能をもっていた。

明治9~21年の間に土地台帳附属地図である公図(更正図)がほぼ完成し、土地台帳制度が整備された。

明治32年に土地台帳規則が制度化された当時、土地台帳の登録事項に変更を生じた時は、税制度として、申告義務が課せられており、この申告手続は、当時役場職員が、所有者の依頼により調査丈量(測量)等を行っていたようである。大正時代に入って、役場で、測量技術を修得した、経験のある職員が退職して、測量師、代書人と言う、看板を掲げて、土地台帳登録申告手続を行う者が出現した。こうした時代、全国各地



の実態は明らかではないが、土地台帳申告に必要な現況の調査は、本人の申告をもって税務署に於て確認して登録をする査定主義をとっていた。

行政補助者の設定

税務署に於ては、申告事件について査定の為現地調査を行う事が、事務処理上大変な手数を要し事務処理の円滑化に支障を来すことから、特に業を行っている者、又は役場退職者で台帳登録業務の経験を有する者に対し、業を行う事の認可を与え、この者を「土地家屋調査員」として地租行政の補助的な役割を依存した。いわゆる国家行政協力員である。

土地家屋調査員は個人の依頼によって調査、測量、申告の業務を行い、一方では、行政協力員としての任務の遂行があり、申告の手続には、当時なりの適格な業務遂行義務が課せられていたようである。このことは管轄税務署長の独自の発想によるもので全国各税務署がそれぞれ創造して、類似な形態で行っていたようである。従って調査士の起源は、この時点から誕生したとも言える。然しこの様な状態では全国统一された業務が出来ないばかりか、正規な公的資格もあいまいな実状を考え、昭和2年頃より全国統一行動を起し、昭和4年に長野県調査員会を発足させ、当時「土地整理士法」として法律制度の請願をする事とした。

法律制定の目的は、他人の委託により報酬を得て、土地台帳法、家屋台帳法に規定する申告、申請書の作成、及び所有権の移転、変更に関する登記申請書の作成並びに税務署の囑託をうけて、異動土地、異動家屋の調査に従事する者を資格者として制定する事であった。

法制定の請願

法制定の請願は3回に渡って行われた。

第1回請願 昭和16年3月25日

第2回請願 昭和17年1月30日

第3回請願 昭和18年3月23日

第3回目の請願は議員提案の形で可決されたが、貴族院（現参議院）で否決となり、廃案となった。昭和20年8月15日世界大戦は終結し、以来続けて法案提出に努力したが遂に日の目をみなかったのが実態であった。

(ハ) 戦後の土地家屋調査士法制定運動

従来、土地台帳、家屋台帳は、地租税、家屋税の徴収の基本台帳として税務署が所管していたのであるが、戦後、シャープ勧告によって税制の改革が行われ、地租税、家屋税は、地方税（固定資産税）に移管する事が適当との提言があり、昭和25年7月、地方税法の成立と同時に土地台帳法、家屋台帳法の一部が改正され、今迄課税の基本

とする台帳の性格が、土地、家屋の状況を正確に登録する、いわば土地籍簿、家屋籍簿的なものとなり、税務署から法務局（登記所）に移管された。

(ニ) 台帳事務の移管を受けた法務省側は、その理由を登記制度における不動産の権利の対象を明確にするための台帳として必要である登記制度と併せる事によって台帳の果たす役割が重要なものであるとした。よって昭和25年5月22日税法の改正案と共に土地家屋調査士法が提案され、同年7月31日、法律第228号を以て制定された次第であります。

以上、述べました通り、調査士法が制定される迄、永い歴史がありましたが、私共は、皆様方の依頼により、登記の正確を期し、安心して不動産取引が成立するよう、不動産登記の円滑に資すづく日夜（むつかしい法律や実態調査に）努力邁進している者であります。少々固苦しく、面白くない卓話でありましたが御静聴有難う御座いました。

ロータリー情報委員会

ポリオプラスの活動

今年の6月末現在約1億人の児童がワクチン接種を受けた。

インドネシアでは10年前、ポリオ患者の発生は約6,000件であった。1986年R Iはポリオプラス補助金610万ドルを供与した。現地のロータリアンは政府と共に活動した。昨年1988年、ポリオの発生はわずか393件に激減している。

次週例会	1月10日	クラブアッセンブリー
------	-------	------------

次々週例会	1月17日	ロータリー情報委員会
-------	-------	------------

開発途上国に比べて、先進国では、ワクチン接種率が非常に高く、その結果として、ポリオの発生がほとんど見られなくなりました。しかし、開発途上国では、ワクチン接種率が非常に低く、ポリオの発生が頻りに見られます。このため、先進国は、開発途上国にワクチン接種の支援を行うことが重要であると認識しています。

1985年、先進国は「ポリオ撲滅宣言」を行い、2000年までにポリオを撲滅することを誓いました。この宣言は、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1989年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1990年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1991年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1992年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1993年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1994年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1995年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1996年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

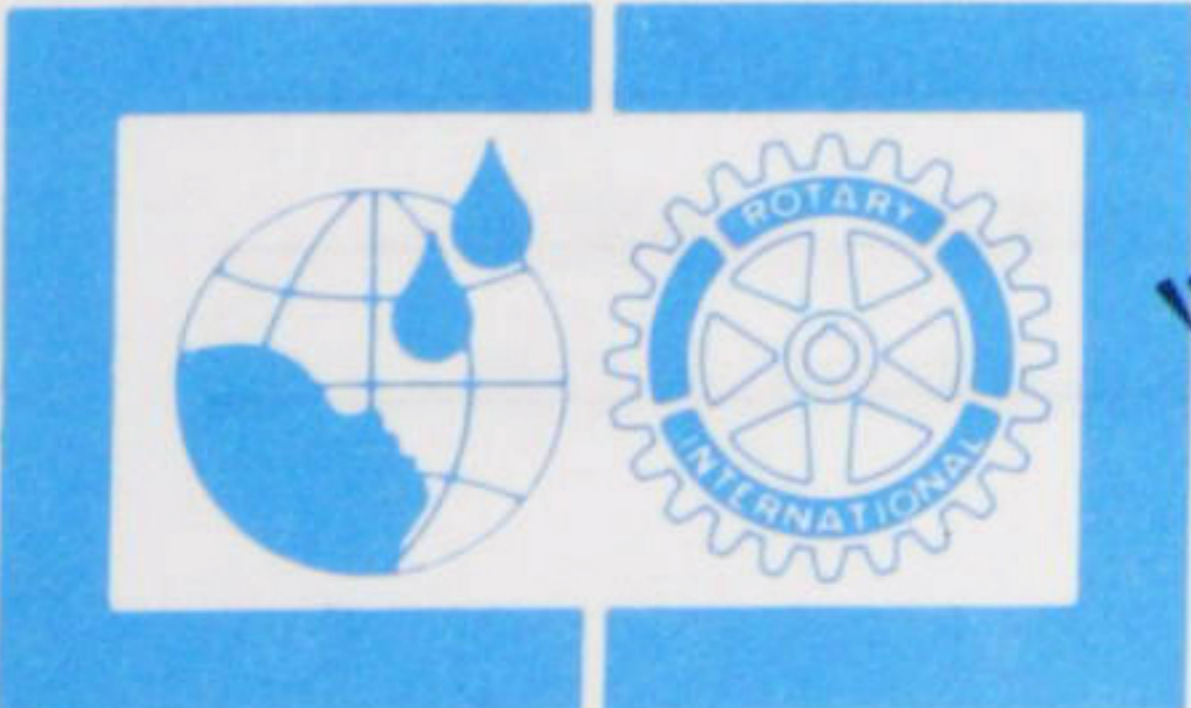
1997年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1998年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

1999年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

2000年、先進国は「ポリオ撲滅基金」を設立し、開発途上国にワクチン接種の資金協力を進めようとする目的で、先進国と開発途上国との間で、ワクチン接種の資金協力を進めようとする契機となりました。

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
 ワクチン投与資金協力を”